

前章 囲碁理論について

第1節 理論概要と新用語

この本では、新しい囲碁用語を数多く使用しています。ここではその概念を正しく理解していただくために簡単に述べます。

1 2つの効率（プラス効果とマイナス効果）

効率の評価には、

- ① 石の配置によって生まれるプラス効果
- ② 着手ミスによって失うマイナス効果

の2パターンがあります。構想による評価は、プラス効果であり、最大で3目から5目と小さく、着手ミスによって失うマイナス効果は、回数も多く損失も5目以上になると考えています。

このため、棋力を上げるには、

- ① 自分から、悪手や着手ミスを打たない。
- ② 相手の着手ミスを咎めることで成果を得る。
- ③ 相手に理想形を与えない。

などの勉強が必要であり、特に高段者になると構想力を身につける勉強が重要になると考えています。